

iR-ADV/iR 宛先表編集ツール

操作説明書 Ver2.5

2015 年 3 月 12 日
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

目次

1. インストール.....	4
1.1 インストールの前提条件	4
1.2 インストールの実行	4
2. IR-ADV/IR 宛先表編集ツール概要.....	5
3. 起動.....	6
3.1 起動時の画面	6
3.2 メニューバー	7
3.3 ツールバー	8
4. データの取り込み.....	9
4.1 新規作成.....	9
4.2 「開く」と「追加インポート」	10
4.3 IR-ADV/IR 専用アドレスブックファイルの取り込み.....	11
4.4 CSV ファイルの取り込み	14
4.5 読み込み時のエラーチェック内容.....	18
4.6 結果ダイアログ表示	18
4.7 ログファイル	18
5. 宛先データ 追加、編集、削除	19
5.1 追加・編集.....	20
5.2 各宛先 詳細ダイアログボックス	22
5.3 保存	33
5.4 CSV ファイルエクスポート	34
5.5 標準設定.....	35
5.6 検索と置換.....	38

【商標について】

- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- Canon、iR はキヤノン株式会社の商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

【呼称について】

Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版を Windows XP と表記しています。

Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版を Windows 7 と表記しています。

Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版を Windows 8 と表記しています。

Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版を Windows 8.1 と表記しています。

Microsoft® Windows® operating system 日本語版を Windows と表記しています。

1. インストール

1.1 インストールの前提条件

本ツールは以下の環境の動作を前提条件とします。

ハードウェア	IBM PC 機/その互換機 1GHz、32bit(x86)のプロセッサを搭載したコンピュータ 1GB 以上のメモリ 800×600 ドット以上(1024×768 ドット以上を推奨)、256 色以上のディスプレイ インストール時 100MB 以上の空き容量のあるハードディスク
対応 OS	Windows XP Pro 32bit 日本語版(Service Pack3) Windows 7 Professional 32bit 日本語版(Service Pack1) Windows 7 Professional 64bit 日本語版(Service Pack1) Windows 8 64bit 日本語版 Windows 8 32bit 日本語版 Windows 8.1 64bit 日本語版 Windows 8.1 32bit 日本語版
対応 iR 機種	Color imageRUNNER iR CXX80 imageRUNNER iR 3XXX/50XX imageRUNNER ADVANCE C50XX/C70XX/C9XXX imageRUNNER ADVANCE 8XXX/60XX/40XX /C30XXC20XX/C350F imageRUNNER ADVANCE 42XX

1.2 インストールの実行

1. Windows を起動します。
 - Administrator の権限を持つユーザでログインする必要があります。
2. インストールディスク内の「Setup」または「Setup.exe」をダブルクリックしてください。
3. 画面に表示されるメッセージに従って、インストールを進めてください。

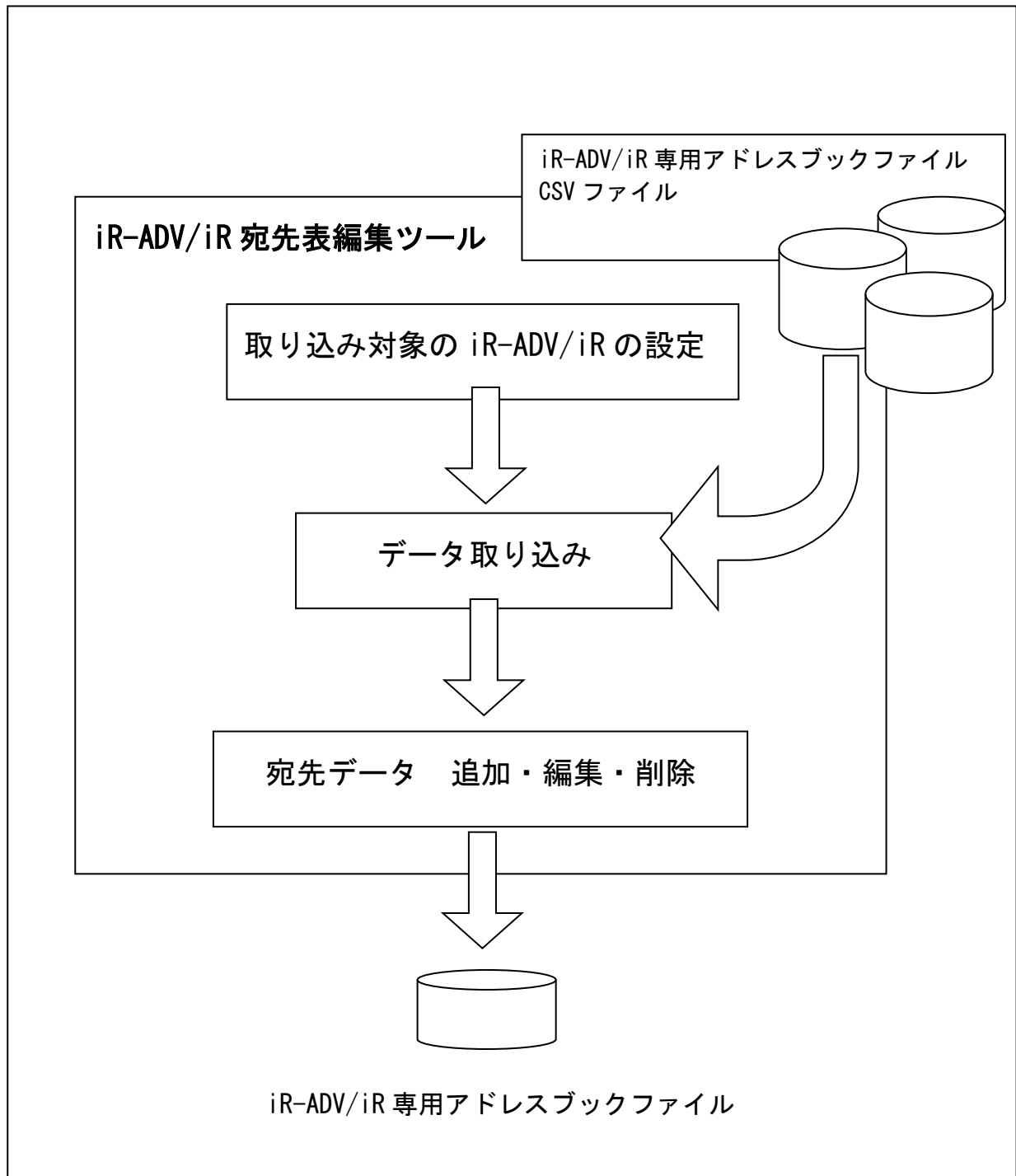
メモ)

Ver2.x で、以前のバージョンが既にインストールされている場合は必ずアンインストール後、インストールするようにお願いします。

2. iR-ADV/iR 宛先表編集ツール概要

本ツールは iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイル (ABK ファイル)、CSV ファイルを読み込み、データを編集、加工後、iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイルとして出力する機能を持ちます。

本ツールは以下のような流れになっています。



メモ)

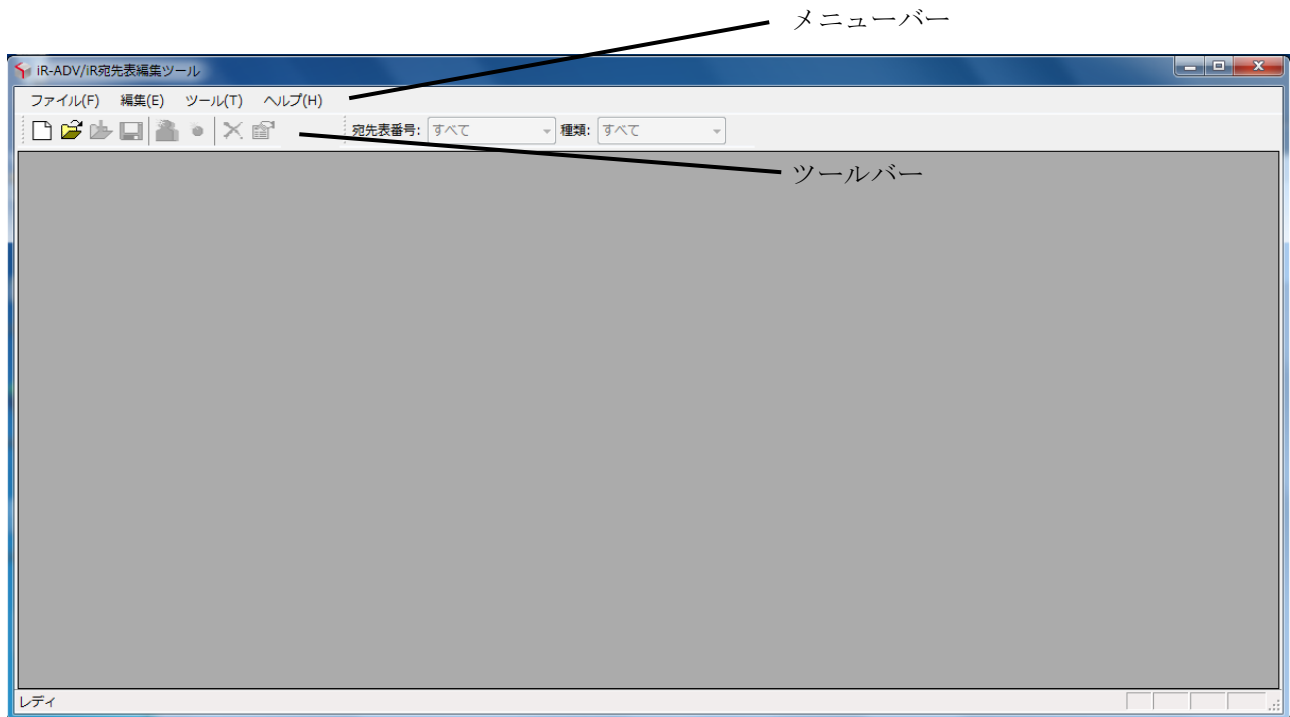
iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイルとは、iR-ADV/iR のリモート UI の専用フォーマットでインポート/エクスポートする際のファイル形式です。

3. 起動

3.1. 起動時の画面

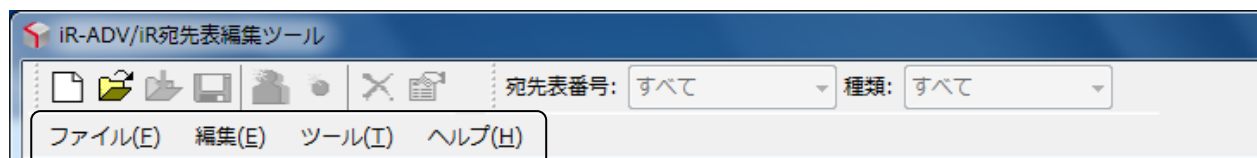
タスクバーの [スタートボタン] をクリックして、[プログラム] → [Canon iR-ADV/iR 宛先表編集ツール V2] → [Canon iR-ADV/iR 宛先表編集ツール] を選択します。

iR-ADV/iR 宛先表編集ツールが起動して、メイン画面が表示されます。



この状態で、有効なメニューは [新規作成]、[開く]、[最近使ったファイル]、[終了]、[ツールバー]、[標準設定]、[バージョン情報] のみです。

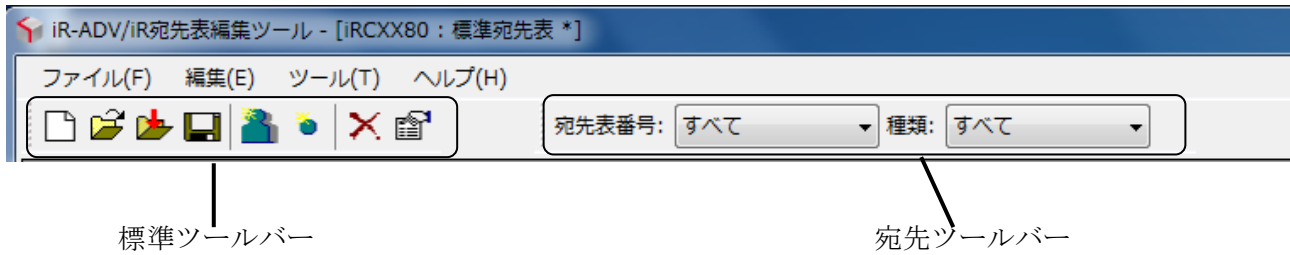
3.2. メニューバー



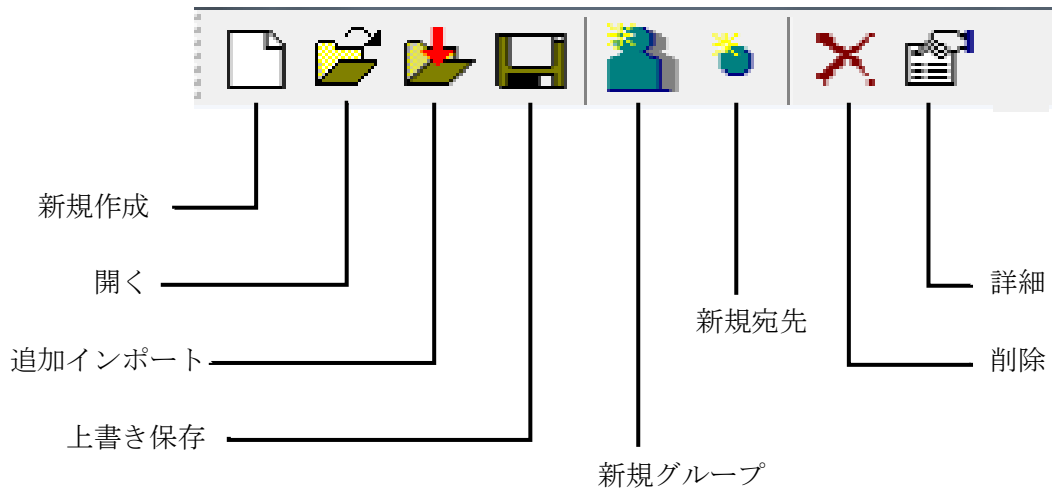
メニュー一覧

ファイル(F)		
新規作成(N)	新規の iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイルを作成します。	
開く(O)	既存の iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイル、CSV ファイルを開き、編集可能画面を表示します。	
閉じる(C)	編集中の宛先を閉じます。	
追加インポート(I)	既存の iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイル、CSV ファイルを開き、編集画面の画面に追加表示します。	
上書き保存(S)	iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイルを開いていた場合のみ、上書き保存されます。	
名前を付けて保存(A)	iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイルを作成します。	
CSV ファイルエクスポート(E)	CSV ファイルを作成します。	
最近使ったファイル	以前に開いたファイルの履歴を最大 4 つまで表示します。	
終了(X)	アプリケーションを終了します。	
編集(E)		
元に戻す(U)	直前に行った文字の編集動作を元に戻します。	
切り取り(X)	編集中の文字を切り取り、クリップボードに記憶します。	
コピー(C)	編集中の文字をコピーして、クリップボードに記憶します。	
貼り付け(V)	クリップボードのデータを貼り付けます。	
検索(F)	検索ダイアログを表示し、検索文字をメインビューの上から検索を行います。	
置換(H)	置換ダイアログを表示し、検索文字をメインビューの上から検索を行い、置換後の文字に置き換えます。	
ツール(T)		
ツールバー(B)	標準ツールバー(T)	標準ツールバーの表示、非表示を切り替えます。
	宛先ツールバー(A)	宛先ツールバーの表示、非表示を切り替えます。
新規グループ(G)	グループダイアログを表示します。	
新規宛先(A)	宛先種類ダイアログを表示します。	
エラーチェック(E)	宛先の入力項目のチェックを行います。	
標準設定(D)	機種選択時、新規宛先作成時のデフォルト設定を行います。	
ヘルプ(H)		
バージョン情報(A)	バージョン情報を表示します。	

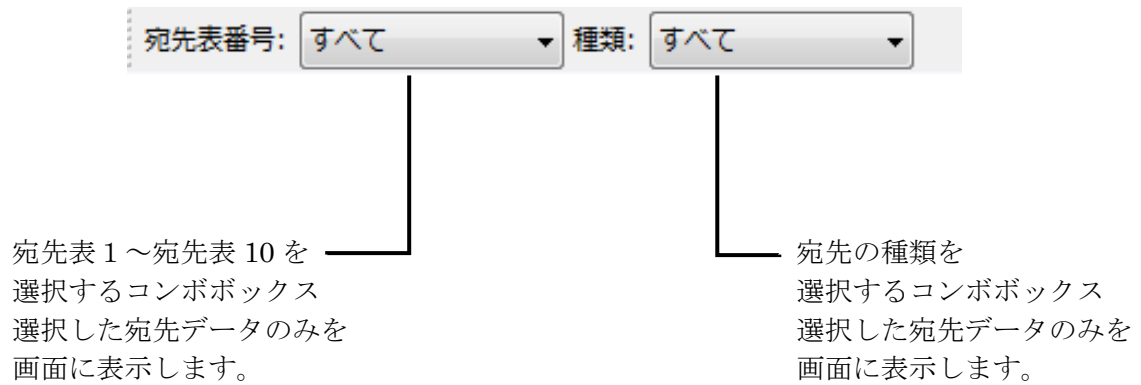
3.3. ツールバー



- 標準ツールバー



- 宛先ツールバー



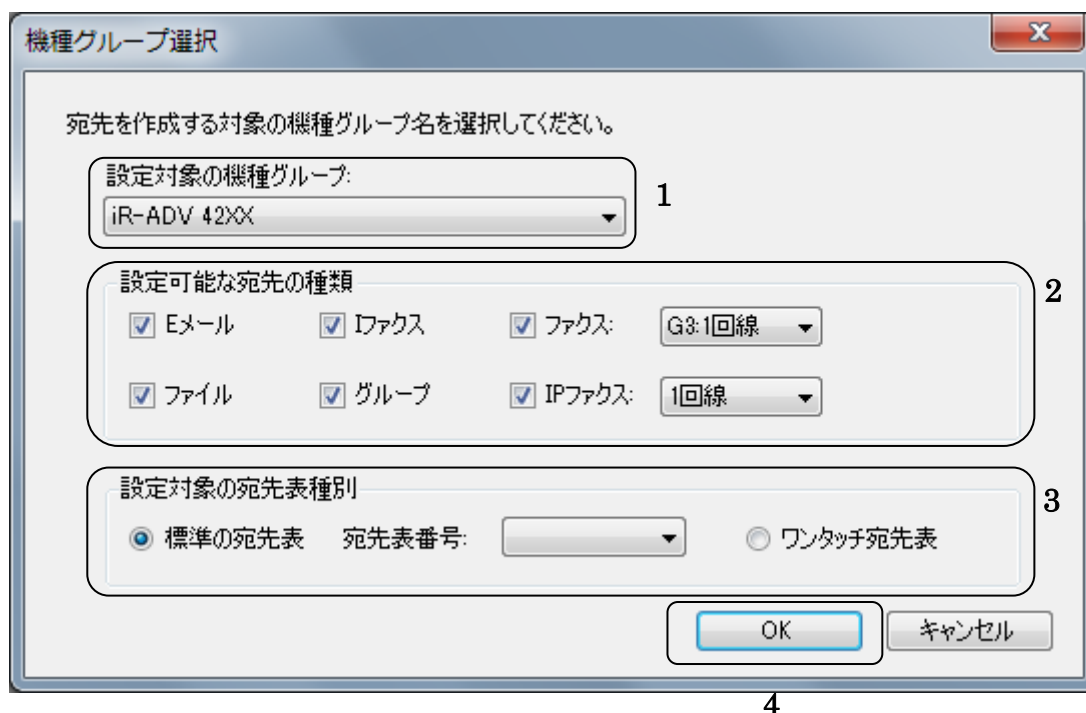
4. データの取り込み

既存の iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイル、CSV ファイルを本ツールに取り込みます。

4.1. 新規作成

〔ファイル〕 → 〔新規作成〕 または、ツールバーの 〔新規ファイル〕 を選択すると以下の画面が表示されます。

ここでは、新規に iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイルを作成するために、設定対象となる iR-ADV/iR の機種や宛先の種類、宛先表の種類を選択します。



The dialog box titled "機種グループ選択" (Device Group Selection) contains the following elements:

- 1** A dropdown menu labeled "設定対象の機種グループ:" (Target Device Group) with "iR-ADV 42XX" selected.
- 2** A section titled "設定可能な宛先の種類" (Selectable Destination Types) containing:
 - Checkboxes for "Eメール" (Email), "Fファクス" (Fax), "ファイル" (File), and "グループ" (Group), all of which are checked.
 - Dropdown menus for "ファクス:" (Fax) set to "G3:1回線" (G3: 1 line) and "IPファクス:" (IP Fax) set to "1回線" (1 line).
- 3** A section titled "設定対象の宛先表種別" (Target Destination Table Type) containing:
 - Radio buttons for "標準の宛先表" (Standard Destination Table) and "ワンタッチ宛先表" (One-touch Destination Table). "標準の宛先表" is selected.
 - A dropdown menu for "宛先表番号:" (Destination Table Number) next to the selected radio button.
- Buttons for "OK" and "キャンセル" (Cancel) at the bottom right.

4

1. 〔設定対象の機種グループ〕

宛先を保存する機種を選択します。

2. 〔設定可能な宛先の種類〕

選択された機種によって、〔設定可能な宛先の種類〕が変わります。対応していない宛先の種類は無効化され選択できません。設定したい宛先の種類を選択します。

3. 〔設定対象の宛先表種別〕

選択された機種によって、選択できる〔宛先表種別〕が変わります。対応していない宛先表種別は無効化され選択できません。〔標準の宛先表〕の場合、データを取り込む宛先表の番号を指定します。

4. 〔OK〕

〔設定可能な宛先の種類〕が1つ以上選択されていない場合、または〔設定対象の宛先表種別〕の〔標準の宛先表〕にチェックが入っており、宛先表番号が選択されていない場合はエラーメッセージが表示されます。

4.2. 「開く」と「追加インポート」

- 「開く」

現在、編集集中のファイルがある場合は、閉じてから実行されます。

ファイル選択ダイアログボックスを表示して、既存の iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイル、CSV ファイルを指定します。ファイル選択後、設定対象の機種、有効な宛先の種類、宛先表の種別（標準、ワンタッチ）を設定することで、ファイルデータを元に選択した機種の宛先データを作成します。

- 「追加インポート」

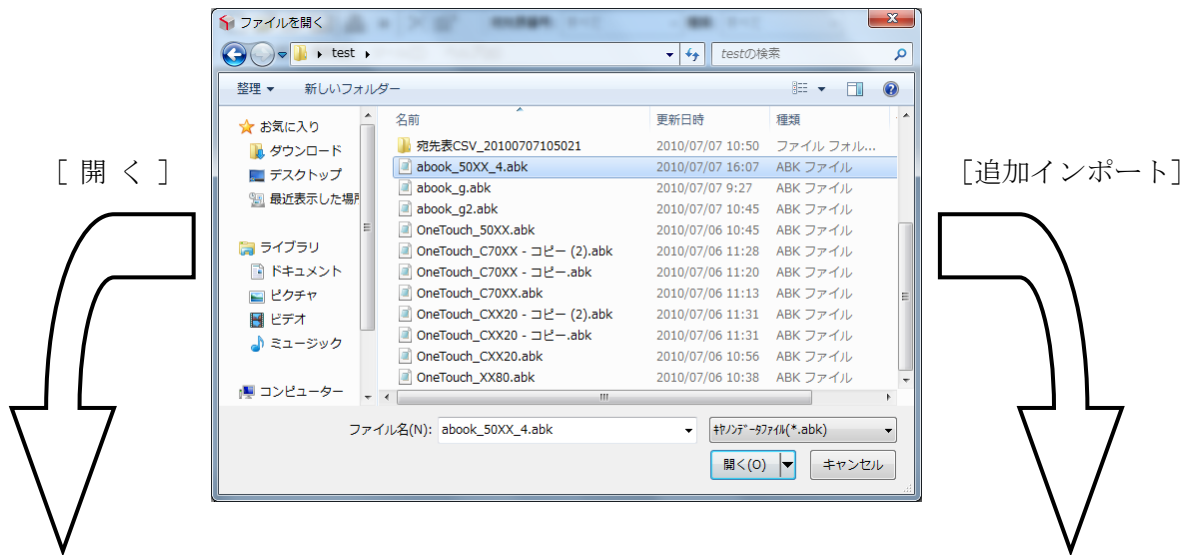
現在、編集集中の画面（「開く」または「新規作成」実行後）に追加で宛先の取り込みができます。

ファイル選択ダイアログボックスを表示して、既存の iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイル、CSV ファイルを指定します。ファイル選択後、現在編集集中の画面に追加でデータの取り込みができます。

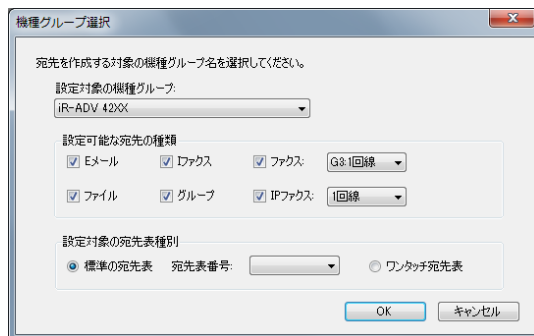
4.3. iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイルの取り込み

iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイルのデータ取り込み処理の流れ

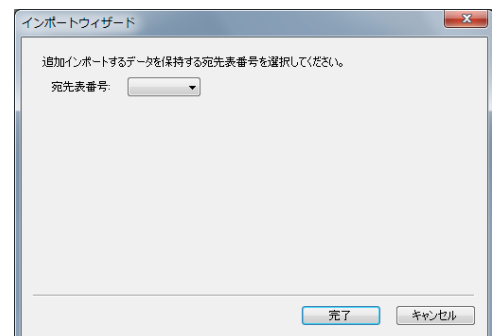
1. ファイルを開く



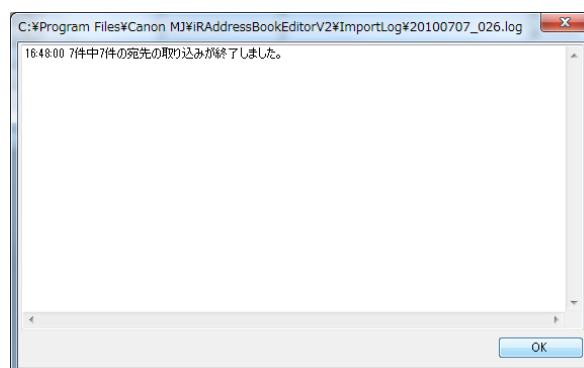
2. ウィザード a



2. ウィザード b



取り込み結果ダイアログ

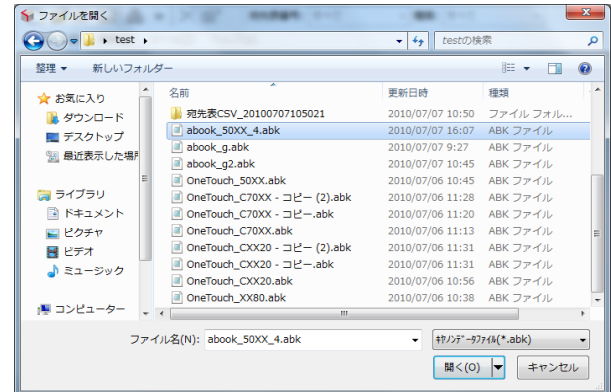


1. ファイルを開く

- 新規に宛先を作成する場合：
[ファイル] → [開く] または、ツールバーの [開く] を選択します。
- 現在編集集中の画面に宛先を追加したい場合：
[ファイル] → [追加インポート] または、ツールバーの [追加インポート] を選択します。

右の [ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。

ファイルリストからファイルを選択し、
[開く] を押すと、
ウィザード画面が表示されます。



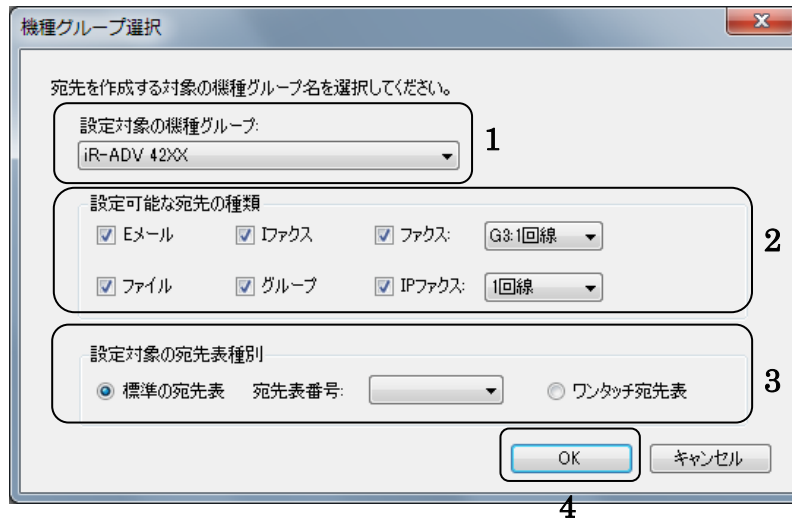
- [開く] 選択時
2. ウィザード **a** を参照してください。
- [追加インポート] 選択時
取り込み先が標準の宛先表の場合、2. ウィザード **b** を参照してください。
取り込み先がワンタッチ宛先表の場合、取り込み結果ダイアログが表示されます。

【iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイルについて】

iR-ADV/iR のリモート UI の専用フォーマットでエクスポートされたファイルのことです。
拡張子は.abk になります。

2. ウィザード a

ここでは、iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイルの宛先表を作成するために、その対象となる機種を選択し、宛先の種類、宛先表の種別を選択します。



The dialog box titled "機種グループ選択" (Device Group Selection) contains the following elements:

- 1. A dropdown menu labeled "設定対象の機種グループ:" (Target Device Group) with "iR-ADV 42XX" selected.
- 2. A section titled "設定可能な宛先の種類" (Selectable Destination Types) containing checkboxes for "Eメール" (Email), "ファクス" (Fax), "ファイル" (File), and "グループ" (Group), all of which are checked. To the right are dropdown menus for "ファクス:" (Fax) set to "G3:1回線" and "IPファクス:" (IP Fax) set to "1回線".
- 3. A section titled "設定対象の宛先表種別" (Target Destination Table Type) with radio buttons for "標準の宛先表" (Standard Destination Table) and "ワンタッチ宛先表" (One-Touch Destination Table). The "標準の宛先表" option is selected, and next to it is a dropdown menu for "宛先表番号:" (Destination Table Number).
- 4. "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons at the bottom right.

1. [設定対象の機種グループ]

宛先を保存する機種を選択します。

2. [設定可能な宛先の種類]

選択された機種によって、[設定可能な宛先の種類] が変わります。対応していない宛先の種類は無効化され選択できません。設定したい宛先の種類を選択します。

3. [設定対象の宛先表種別]

選択された機種によって、選択できる [宛先表種別] が変わります。対応していない宛先表種別は無効化され選択できません。[標準の宛先表] の場合、データを取り込む宛先表の番号を指定します。

4. [完了]

データの取り込み処理を実行します。(選択した宛先の種類のみ取り込みます。)

2. ウィザード b

ここでは、標準の宛先表選択時に追加で設定したい宛先表番号を選択します。

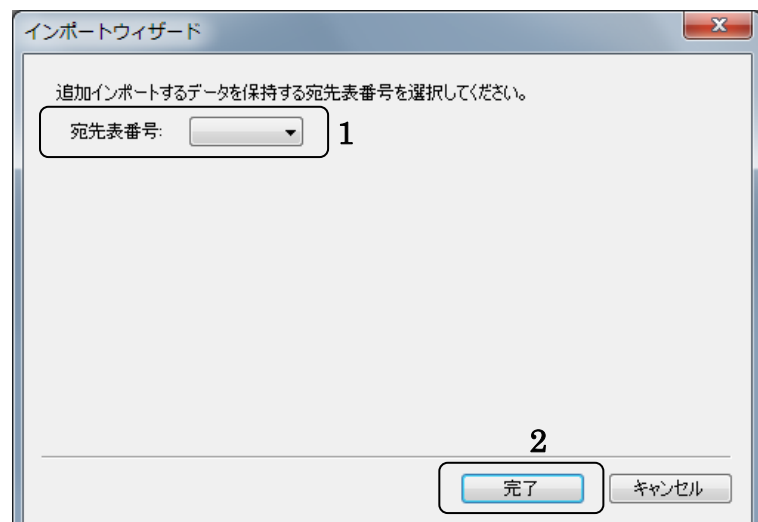
ここで選択した宛先表番号に、取込んだ iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイルのデータを追加します。

1. [宛先表番号]

データを追加保存したい宛先表番号を選択します。

2. [完了]

データの取り込みを実行します。



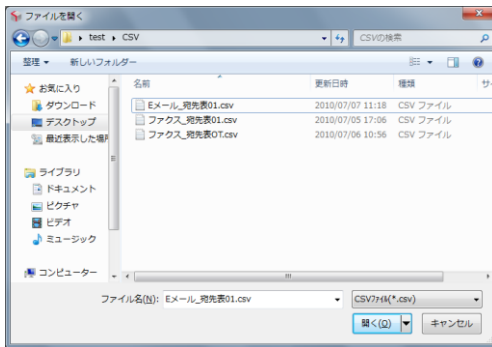
The dialog box titled "インポートウィザード" (Import Wizard) contains the following elements:

- 1. A dropdown menu labeled "宛先表番号:" (Destination Table Number) with a selection arrow.
- 2. "完了" (Finish) and "キャンセル" (Cancel) buttons at the bottom right.

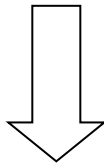
4.4. CSV ファイルの取り込み

CSV ファイルのデータ取り込み処理の流れ

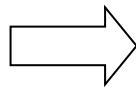
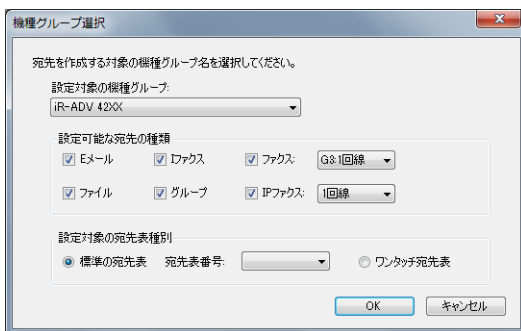
1. ファイルを開く



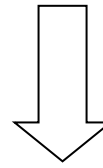
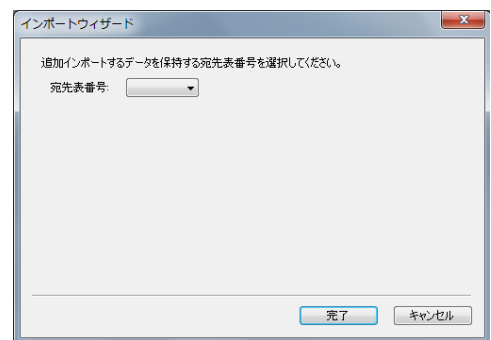
[開く]



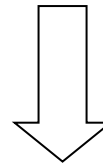
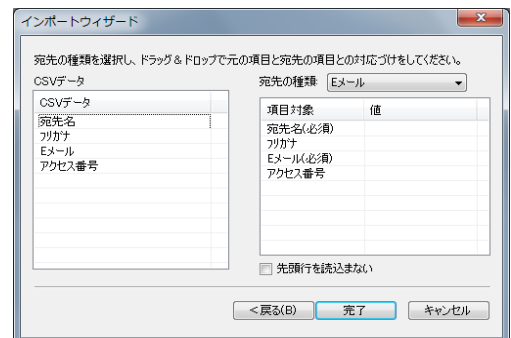
2. ウィザード 1-a



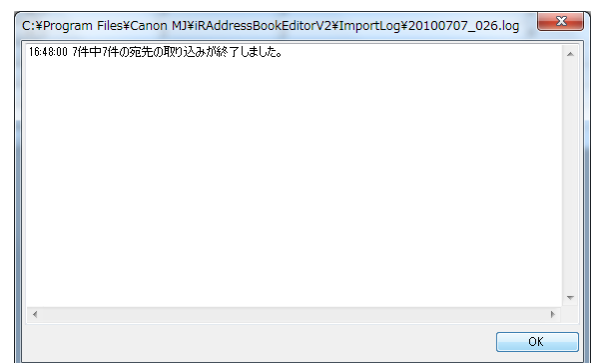
2. ウィザード 1-b



3. ウィザード 2



取り込み結果ダイアログ



1. ファイルを開く

取り込みたい CSV ファイルを選択します。

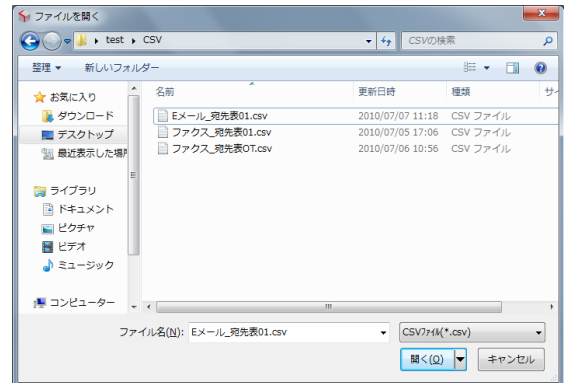
- 新規に宛先を追加する場合：
[ファイル] → [開く] または、ツールバーの [開く] を選択します。
- 現在編集集中の画面に宛先を追加したい場合：
[ファイル] → [追加インポート] または、ツールバーの [追加インポート] を選択します。

右の「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。

ファイルリストからファイルを選択し、

「開く」を押すと、

前の処理によって次の画面が表示されます。



- [開く] 選択時
2. ウィザード1-a を参照してください。
- [追加インポート] 選択時
取り込み先が標準の宛先表の場合、2. ウィザード1-b を参照してください。
取り込み先がワンタッチ宛先表の場合、3. ウィザード2 を参照してください。

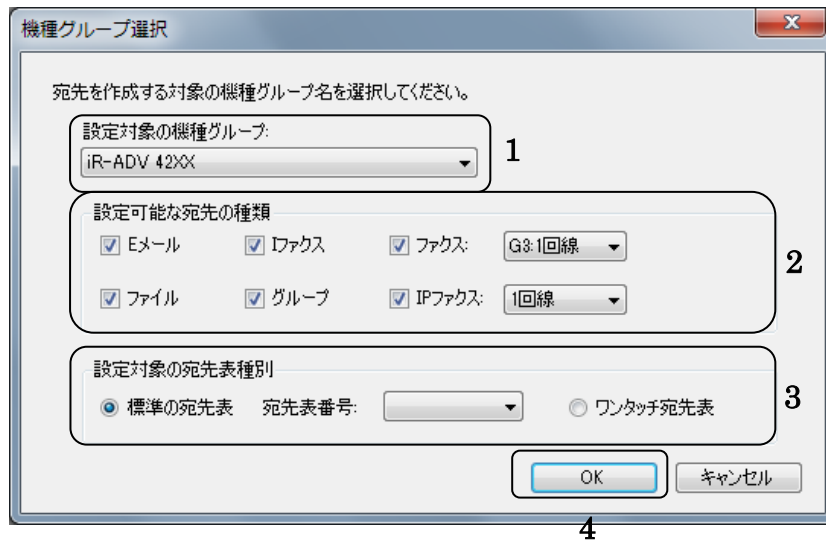
【CSV ファイルのフォーマットについて】

CSV ファイルのフォーマットは以下のとおりとします。

- データとデータの区切りはカンマ“,”で区切ります。
- 1つの宛先データは1行に記述します。
- 1行あたりの最大読み取り可能項目数は先頭から 20 項目までとします。(“,” で区切られた値の数)
- 1行あたりの最大読み取りデータのサイズは先頭から 1000 バイト (“,” を含む) までとします。
- 項目はウィザードで対応付けを行うので、順番は問いません。
- グループの宛先として取り込むことはできません。

2. ウィザード 1-a

ここでは、iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイルの宛先表を作成するために、その対象となる機種を選択し、宛先の種類、宛先表の種別を選択します。



1. [設定対象の機種グループ]

宛先を保存する機種を選択します。

2. [設定可能な宛先の種類]

選択された機種によって、[設定可能な宛先の種類] が変わります。対応していない宛先の種類は無効化され選択できません。設定したい宛先の種類を選択します。

3. [設定対象の宛先表種別]

選択された機種によって、選択できる [宛先表種別] が変わります。対応していない宛先表種別は無効化され選択できません。[標準の宛先表] の場合、データを取り込む宛先表の番号を指定します。

4. [次へ]

[設定可能な宛先の種類] が CSV ファイルで取り込み可能な項目が 1 つ以上選択されていない場合、エラーメッセージが表示されます。

2. ウィザード 1-b

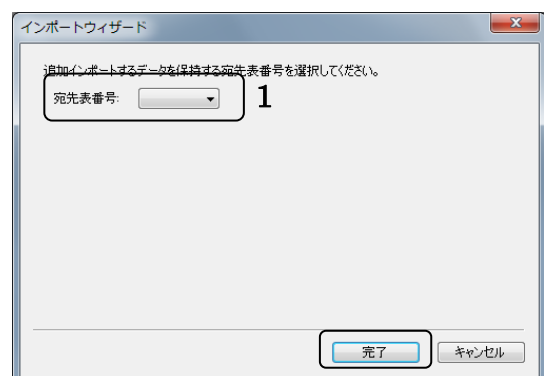
ここでは、標準の宛先表選択時に追加で設定したい宛先表番号を選択します。ここで選択した宛先表番号に、取り込んだ CSV のデータを追加します。

1. [宛先表番号]

データを追加で保存したい宛先表番号を選択します。

2. [次へ]

宛先表番号が選択されていない場合、エラーメッセージが表示されます。



3. ウィザード2

ウィザード1で「次へ」を押された場合、または、「追加インポート」選択時で、取り込み先が「ワンタッチ宛先表」の場合でファイルを選択すると、以下の画面が表示されます。
ここでは、取り込みたい CSV データを宛先の種類を選択したのちに、項目ごとにドラッグアンドドロップで対応付けします。

1. CSV データ表示リスト

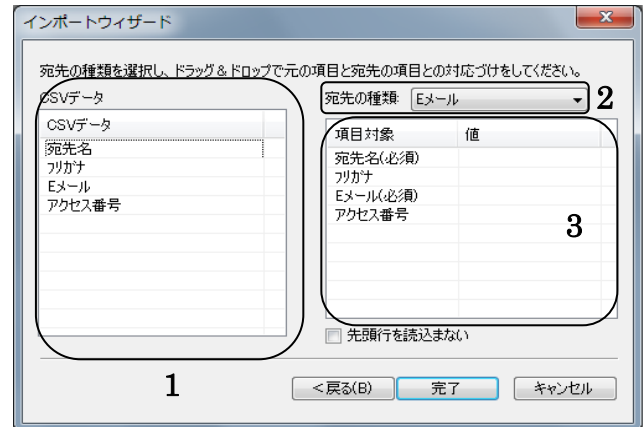
読み込んだ CSV ファイルの一行目のデータを表示します。

2. 「宛先の種類」コンボボックス

前のウィザードで選択した「設定可能な宛先の種類」を表示します。

3. 宛先項目表示リスト

「宛先の種類」で選択された宛先の項目を表示します。
「宛先の種類」によって表示される宛先の項目が変わります。

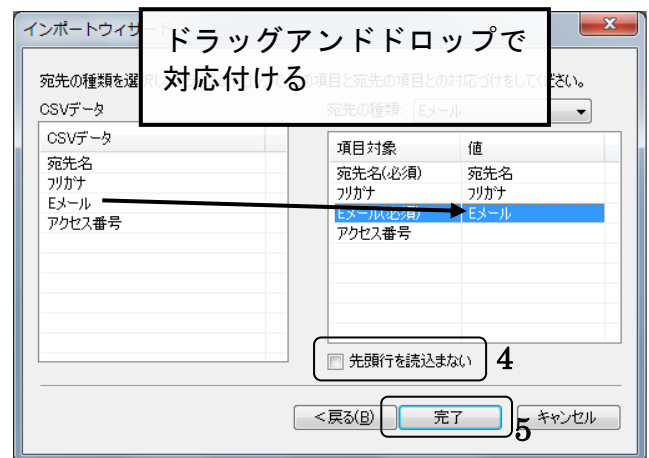


【対応付け】

ドラッグアンドドロップで CSV データを右のように対応付けします。

宛先項目表示リストに、すでに対応付けしたものを
変更したい場合

- 変更したい値をドラッグアンドドロップします。
- CSV データから再度、対応付けし直します。



宛先項目表示リストに、すでに対応付けしたものを削除したい場合

- 削除したい値の上で **Delete** キーを押します。
- 削除したい項目をドロップして、枠の外へ出します。

4. 「先頭行を読み込まない」チェックボックス

チェックが入っている場合は、CSV ファイルの先頭行を読み飛ばし、2 行目以降から読み込みを行います。

5. 「完了」

必須項目に対応付けがされていない場合、エラーメッセージが表示されます。
エラーがない場合は、データの取り込み処理を実行し、取り込み結果を表示します。

(4.6 以降を参照してください。)

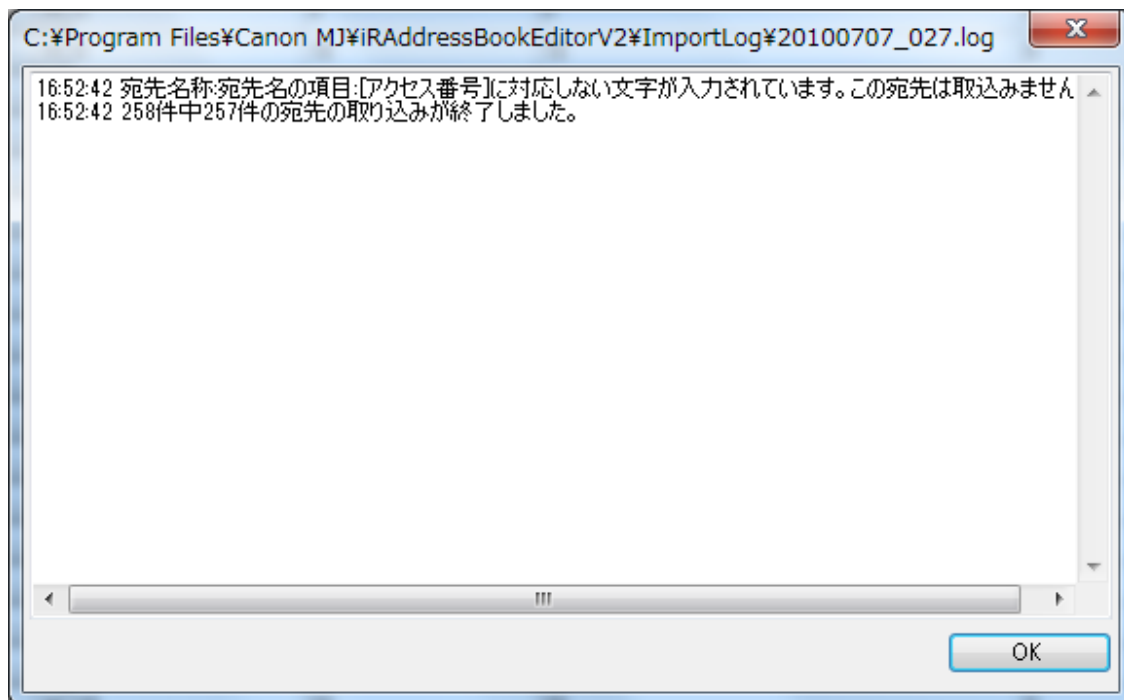
※Windows8.1 では、ドラッグ&ドロップで CSV ファイルを開いた場合、対応付けが機能しません。
Windows8.1 で CSV を開く場合、ツールメニューの「開く」より CSV ファイルを選択してください。

4.5. 読み込み時のエラーチェック内容

- 宛先件数チェック
- 必須項目チェック
- 項目ごとの文字最大長チェック
- 項目ごとの文字種別チェック
- エラー項目が 100 を超える場合は、そこで取り込みを終了する。
(文字最大長チェックは 1 エラーと数えない)

4.6. 結果ダイアログ表示

取り込み後、結果をログファイルに記述し、以下のようなダイアログボックスが表示されます。



4.7. ログファイル

上記のインポート結果はログとしてログ用フォルダ内で以下の形式で保存されます。

ファイル名 : yyyyymmdd_XXX.log (実行時の yyyy:年、mm:月、dd:日 XXX は 1 以上の数字 001-999)
XXX 部分は同一日付で存在する最後の数字に 1 足したものが作成されます。

999 を超える場合、001 以降に上書きされます。

デフォルトでは、30 日経過したログファイルはアプリケーション起動時に削除を行います。

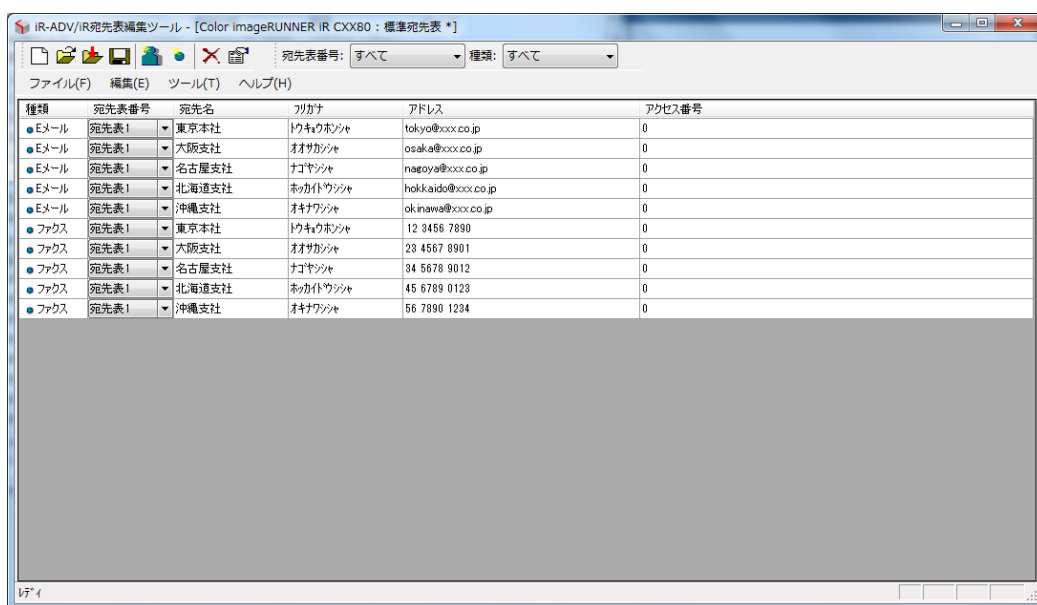
例) 2010/05/31 に起動した場合、2010/05/01 以前に作成されたログファイルは削除します。

保存日数は、[ツール] → [標準設定] → [その他] タブを選択し、[ログファイルの保存期間] から変更可能です。(5.5.3 参照)

5. 宛先データ 追加、編集、削除

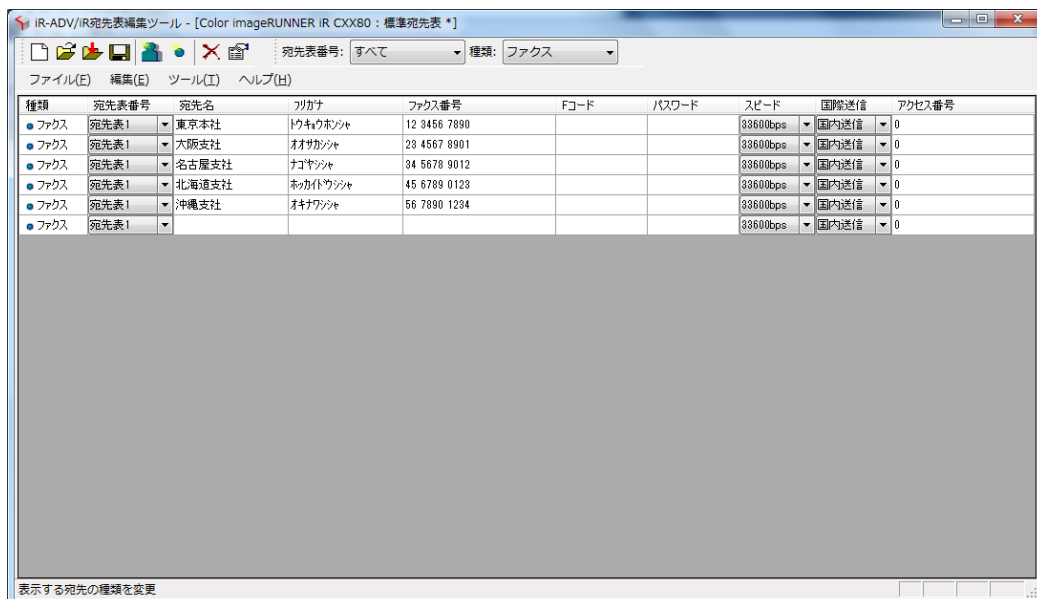
- ◆ [ワンタッチ宛先表] と [標準の宛先表データ] を同時に作成することはできません。
- ◆ 全宛先を表示する編集画面 1 は画面上から直接宛先を作成することはできません。(編集のみ可能)
- ◆ 全宛先を表示する編集画面 1 と 1 つの種類の宛先のみを表示する編集画面 2 の切り替えはツールバー上の宛先種類コンボボックスを選択することで表示が切り替わります。
- ◆ 編集画面 2 は表示される列名が増減し、画面上から直接宛先を作成可能です。
- ◆ 宛先追加時の宛先表番号 (ワンタッチ番号) のデフォルトに関して
 - ✓ 標準宛先表の場合、1 行上の宛先と同一の宛先表番号が設定されます。
 - ✓ ワンタッチ宛先表の場合、1 つ上の宛先の次のワンタッチ番号が選択されます。

● 編集画面 1



● 編集画面 2

宛先ツールバーの宛先の種類コンボボックスで [ファクス] を選択した状態



5.1. 追加・編集

編集画面 1、または 2 の状態で [宛先ツールバー] の [種類] コンボボックスで特定の宛先を選択すると、表示される列が増減します。(図 1、2 参照) また、宛先の新規追加行が表示されます。

(図 2 参照)

図 1 のように [種類] が [すべて] の場合には画面上から直接、新規追加はできません。

メモ) グループを選択しても宛先の新規追加行は表示されません。グループの宛先を追加する場合には [標準ツールバー] から追加動作を行ってください。

図 1



種類	宛先表番号	宛先名	フリガナ	アドレス	アクセス番号
●Eメール	宛先表1	東京本社	トウキョウホンシャ	tokyo@xxx.co.jp	0
●Eメール	宛先表1	大阪支社	オオサカシヤ	osaka@xxx.co.jp	0
●Eメール	宛先表1	名古屋支社	ナゴヤシヤ	nagoya@xxx.co.jp	0
●Eメール	宛先表1	北海道支社	ホッカイドウシヤ	hokkaido@xxx.co.jp	0
●Eメール	宛先表1	沖縄支社	オキナワシヤ	okinawa@xxx.co.jp	0
●ファクス	宛先表1	東京本社	トウキョウホンシャ	12 3456 7890	0
●ファクス	宛先表1	大阪支社	オオサカシヤ	23 4567 8901	0
●ファクス	宛先表1	名古屋支社	ナゴヤシヤ	34 5678 9012	0
●ファクス	宛先表1	北海道支社	ホッカイドウシヤ	45 6789 0123	0
●ファクス	宛先表1	沖縄支社	オキナワシヤ	56 7890 1234	0

図 2



種類	宛先表番号	宛先名	フリガナ	ファクス番号	Fコード	パスワード	スピード	国際送信	アクセス番号
●ファクス	宛先表1	東京本社	トウキョウホンシャ	12 3456 7890			33600bps	国内送信	0
●ファクス	宛先表1	大阪支社	オオサカシヤ	23 4567 8901			33600bps	国内送信	0
●ファクス	宛先表1	名古屋支社	ナゴヤシヤ	34 5678 9012			33600bps	国内送信	0
●ファクス	宛先表1	北海道支社	ホッカイドウシヤ	45 6789 0123			33600bps	国内送信	0
●ファクス	宛先表1	沖縄支社	オキナワシヤ	56 7890 1234			33600bps	国内送信	0
●ファクス	宛先表1						33600bps	国内送信	0

編集したい項目をダブルクリックするか、セルをクリックして選択された状態で Enter キーを押すと編集モードに移行します。

編集後、Enter キーを押すと内容が確定し、次のセルに移動します。

セルの内容を直接編集できるのは、以下の項目です。

共通項目	電子メール	I ファクス	ファクス	IP ファクス	ファイル
宛先名	電子メール アドレス（必須）	I ファクス アドレス（必須）	ファクス番号 （必須）	ファクス番号・URI （必須）	ホスト名（必須）
フリガナ		定型文 1	F コード	URI 通信モード （選択）※	パス（必須）
ワンタッチ名称 （ワンタッチ宛 先表の場合）		定型文 2	パスワード	ファクス番号/URI （選択）※	プロトコル（選択） ※
アクセス番号 （標準の宛先表 の場合）			スピード（選択）※	F コード	ユーザ名（必須）
			国際送信（選択）※	パスワード	パスワード
				スピード（選択）※	
				国際送信（選択）※	

メモ）種類列、宛先表/ワンタッチ番号列と※の列はセルの切り取り/コピー/貼り付け動作は選択できません。

各宛先の詳細ダイアログボックスを表示させると、さらに詳細な設定をすることができます。
各宛先の詳細ダイアログボックスについては、5.2「各宛先 詳細ダイアログボックス」で説明します。

5.2. 各宛先 詳細ダイアログボックス

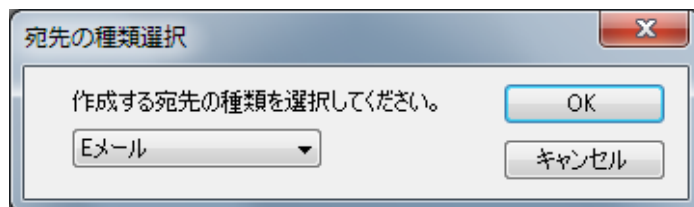
各詳細画面は、編集したい場合は、メイン画面の〔種類〕をダブルクリックするか、編集したい行を選択した状態でツールバーの〔詳細〕を押すと表示できます。

新規で追加したい場合は、〔ツール〕→〔新規宛先〕またはツールバーの〔新規宛先〕を押すと表示されます。



〔新規宛先〕を選択した場合：

以下のダイアログボックスが表示され、宛先の種類を選択したのちに各宛先の詳細ダイアログボックスが表示されます。



〔開く〕または〔新規作成〕で選択された宛先の種類をコンボボックスに設定します。
(グループは設定できません)

〔OK〕を押すと選択された宛先の種類の詳細ダイアログボックスが表示されます。

メモ)

編集画面 1，2 ともにメニュー、ツールバー上からは宛先の新規作成が可能です。

[E メール]

Eメールの宛先の編集画面になります。

Eメール

宛先名(全角入力可): 東京本社 1 OK

フリガナ(半角入力): トウキョウボシヤ 2 キャンセル

Eメールアドレス: tokyo@xxx.co.jp 3

☐ データ分割 4

アクセス番号: 0 5

Eメール

宛先名(全角入力可): 東京本社 1 OK

フリガナ(半角入力): トウキョウボシヤ 2 キャンセル

ワンタッチ名称(全角入力可): 6

Eメールアドレス: tokyo@xxx.co.jp 3

☐ データ分割 4

1. **宛先名**
宛先名を入力します。必須項目になります。
2. **フリガナ**
フリガナを入力します。
3. **Eメールアドレス**
Eメールアドレスを入力します。必須項目になります。
4. **データ分割**
データを分割するか、選択します。
5. **アクセス番号**
アクセス番号を入力します。
6. **ワンタッチ名称**
ワンタッチ名称を入力します。

[I ファクス]

I ファクスの宛先の編集画面になります。

1. 宛先名
宛先名を入力します。必須項目になります。
2. フリガナ
フリガナを入力します。
3. モード選択
モード（Simple, Full）を選択します。
4. I ファクスアドレス
I ファクスアドレスを入力します。必須項目になります。
5. 定型文 1
定型文 1 を入力します。
6. 定型文 2
定型文 2 を入力します。
7. サーバを経由
サーバを経由するか、選択します。
8. 相手先の受信条件
用紙サイズ、圧縮方式、解像度を選択します。
9. データ分割
データを分割するか、選択します。

10. カラー受信

カラー受信を行うか、選択します。機種によっては非表示になります。

11. 相手先カラー受信条件

用紙サイズ、解像度を選択します。カラー受信を行わない場合は非表示になります。

12. アクセス番号

アクセス番号を入力します。

13. **ワンタッチ名称**

ワンタッチ名称を入力します。

【ファクス】
ファクスの宛先の編集画面になります。

The image shows two versions of the 'ファクス' (Fax) configuration window. The left window has fields for: 宛先名 (Recipient Name), フリガナ (Kana), ファクス番号 (Fax Number), Fコード (F-code), パスワード (Password), 送信スタートスピード (Transmission Start Speed), 国際送信 (International Transmission), ECM送信 (ECM Transmission), and アクセス番号 (Access Number). The right window is identical but includes an additional field for ワンタッチ名称 (One-touch Name) and a 回線選択 (Line Selection) dropdown menu. Red numbers 1 through 9 are overlaid on the fields to indicate the sequence of input.

1. **宛先名**
宛先名を入力します。必須項目になります。
2. **フリガナ**
フリガナを入力します。
3. **ファクス番号**
ファクス番号を入力します。必須項目になります。
4. **Fコード**
Fコードを入力します。機種によっては非表示になります。
5. **パスワード**
パスワードを入力します。機種によっては非表示になります。
6. **その他設定**
送信スタートスピード、国際送信、ECM送信、回線、通信モードを選択します。
選択できる回線数は、機種グループによって下記のように変わります。

機種グループ	最大回線数
iR CXX80	2 回線
iR 3XXX/50XX	6 回線
iR-ADV C5XXX/C7XXX/C9XXX	8 回線
iR-ADV 8XXX/6XXX/4XXX/C3XXX/C2XXX/C350F	8 回線

7. **回線選択**
回線数が 2 回線以上の時、選択できるようになります。どの回線を使用するか選択します。
8. **アクセス番号**
アクセス番号を入力します。
9. **ワンタッチ名称**
ワンタッチ名称を入力します。

[IP ファクス]

IP ファクスの宛先の編集画面になります。

※ 機種グループが iR-ADV 42XX の場合のみ使用可能です。

1. 宛先名

宛先名を入力します。必須項目になります。

2. フリガナ

フリガナを入力します。

3. URI 通信モード

IP ファクスの通信モードを選択します。

内容は [イントラネット]、[NGN]、[NGN マイナンバー]、[VoIP ゲートウェイ]になります。

4. ファクス番号/URI

ファクス番号と URI のどちらを使用するかを選択します。

内容は [ファクス番号]、[URI]になります。

URI 通信モードで [イントラネット] を選択した場合にのみ選択可能で、それ以外を選択している場合は [ファクス番号] に固定されます。

5. ファクス番号 又は URI

「ファクス番号/URI」で[ファクス番号]を選択している場合はファクス番号を、[URI]を選択している場合は URI を入力します。必須項目になります。

※URI を入力する場合について「[sip:](#)」/「[sips:](#)」プレフィックスは自動では付与されません。

6. F コード

F コードを入力します。機種によっては非表示になります。

7. パスワード

パスワードを入力します。機種によっては非表示になります。

8. **その他設定**

送信スタートスピード、国際送信、ECM 送信、回線、通信モードを選択します。
選択できる回線数は、機種グループによって下記のように変わります。

機種グループ	最大回線数
iR-ADV 42XX	2 回線

9. **回線選択**

回線数が 2 回線以上の時、選択できるようになります。どの回線を使用するか選択します。

10. **アクセス番号**

アクセス番号を入力します。

11. **ワンタッチ名称**

ワンタッチ名称を入力します。

[ファイル]
ファイルの宛先の編集画面になります。

The image shows two screenshots of a 'File' dialog box. The left screenshot shows the initial state with fields for宛先名 (1), フリガナ (2), プロトコル (3), ホスト名 (4), パス (5), ユーザ名 (6), パスワード (7), and アクセス番号 (8). The right screenshot shows the same dialog box with an additional field for ワンタッチ名称 (9) added at the top.

- 宛先名**
宛先名を入力します。必須項目になります。
- フリガナ**
フリガナを入力します。
- プロトコル**
プロトコルを選択します。
内容は [FTP]、[Windows(SMB)]、[NetWare(IPX)]、[WebDAV]になります。
※iR-ADV 用の宛先には NetWare(IPX)を指定しないで下さい。非対応のため、使用できません。
- ホスト名**
ホスト名を入力します。必須項目になります。
- パス**
パスを入力します。選択したプロトコルによっては必須項目になります。
- ユーザ名**
ユーザ名を入力します。選択したプロトコルによっては必須項目になります。
- パスワード**
パスワードを入力します。機種グループが iR-ADV C5XXX/C7XXX/C9XXX、iR-ADV 8XXX/6XXX/4XXX/C3XXX/C2XXX/C350F の場合は、[パスワードをその都度入力する] チェックボックスが有効になります。
- アクセス番号**
アクセス番号を入力します。
- ワンタッチ名称**
ワンタッチ名称を入力します。

グループの追加・編集

- [グループ宛先]

グループ宛先とは、すでに登録されている各宛先を1つの宛先として登録する機能です。電子メールやIファクス、ファイルなどグループ宛先で登録する各宛先を登録してから、グループ宛先の登録を行ってください。(最大登録件数は、機種によって異なります。)

以下のような編集画面の状態で、グループの追加・編集が可能になります。

[グループ]



ダブル
クリック

[グループ]

編集画面の[種類]で[グループ]をダブルクリックする、[ツール] → [新規グループ] またはツールバーの[新規グループ]を選択すると以下のダイアログボックスが表示されます。

The dialog box 'グループ' contains the following fields and controls:

- 宛先表番号: 宛先表1 7 (with OK and キャンセル buttons)
- 宛先名(全角入力可): 本州営業グループ 1
- フリガナ(半角入力): ホンシュウエイギョウグループ* 2
- メンバー追加 3, 削除 4
- ワンタッチ名称: 9
- グループメンバー一覧表 (Table 5):

宛先名	宛先	種類
東京本社	tokyo@xxx.co.jp	Eメール
大阪支社	osaka@xxx.co.jp	Eメール
名古屋支社	nagoya@xxx.co.jp	Eメール
東京本社	12 3456 7890	ファクス
大阪支社	23 4567 8901	ファクス
名古屋支社	34 5678 9012	ファクス
- 6 ☐ ボックスへ移動 未選択
- アクセス番号: 0 8

1. 宛先名

グループの宛先名を入力します。

2. フリガナ

フリガナを入力します。

3. メンバー追加

[宛先一覧] ダイアログボックスが表示されます。

4. 削除

グループメンバー一覧で選択された宛先をグループから削除します。

5. グループメンバー一覧

[宛先一覧] ダイアログボックスで選択された宛先を表示します。

6. ボックス番号チェックボックス

有効な機種の場合、チェックボックスを表示します。

7. 宛先表番号コンボボックス

標準の宛先表編集時のみ表示されます。

作成する宛先表をコンボボックスで指定します。(宛先表1～宛先表10)

8. アクセス番号

標準の宛先の場合に表示します。

9. ワンタッチ名称

ワンタッチ名称を入力します。

[宛先一覧]

グループダイアログボックスの[メンバー追加]が押された時に、起動されます。
作成しているグループ宛先一覧と同一の宛先表番号の宛先データのみを記述します。

宛先名	宛先	種類
東京本社	tokyo@xxx.co.jp	Eメール
沖縄支社	56 7890 1234	ファクス
大阪支社	osaka@xxx.co.jp	Eメール
名古屋支社	nagoya@xxx.co.jp	Eメール
北海道支社	hokkaido@xxx.co.jp	Eメール
沖縄支社	okinawa@xxx.co.jp	Eメール
東京本社	12 3456 7890	ファクス
大阪支社	23 4567 8901	ファクス
名古屋支社	34 5678 9012	ファクス
北海道支社	45 6789 0123	ファクス

1. 種類

宛先の種類を選択できます。(デフォルトは[すべて]です。)

2. 宛先表示リスト

選択された宛先種別の宛先のみを表示します。
複数の宛先が選択可能です。

3. OK

選択された宛先をメンバーとして追加します。

5.3. 保存

標準の宛先表の場合、編集中の宛先表番号が複数ある場合、宛先表番号の数だけ、保存処理が実行されます。

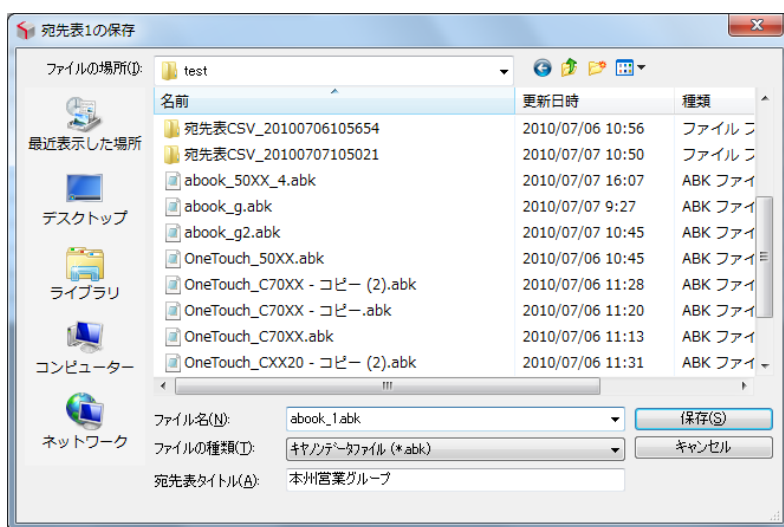
〔上書き保存〕

iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイルを〔開く〕選択時には、〔開く〕で選択した宛先表番号の宛先データは同一名称の iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイルに上書き保存されます。

CSV ファイルを〔開く〕選択時には、〔名前を付けて保存〕の処理になります。

〔名前を付けて保存〕

以下のようなダイアログを表示して、iR-ADV/iR 専用アドレスブックファイルを作成します。編集中の宛先表番号の数だけ、繰り返されます。



【宛先表タイトル】

標準の宛先表の保存時には、〔宛先表タイトル〕が表示されます。

〔宛先表タイトル〕とは、iR-ADV/iR のリモート UI で表示される宛先表名になります。（以下の図を参照してください。）但し、機種によっては非表示になります。



5.4. CSV ファイルエクスポート

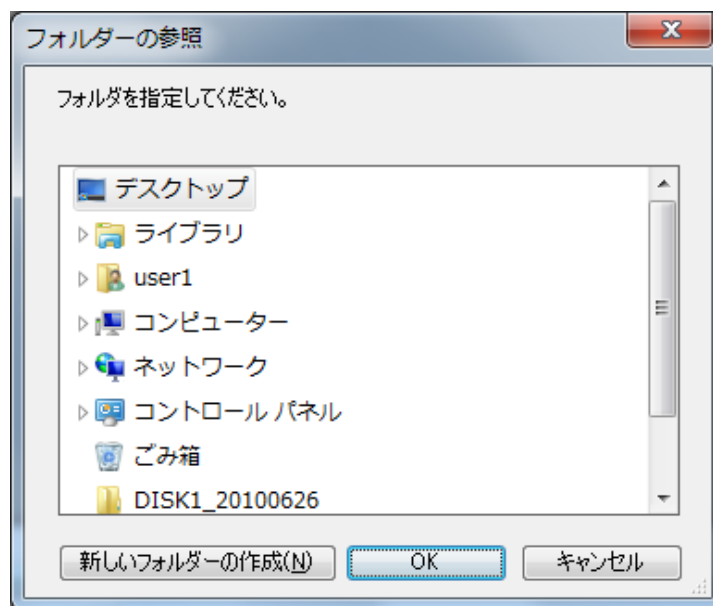
読み込み済み、あるいは新規作成／編集した宛先表を、「宛先の種類」ごとに異なる CSV ファイルに出力します。

[CSV ファイルエクスポート]

[ファイル] → [CSV ファイルエクスポート] (もしくは [Ctrl-E]) を選択することで、宛先表を CSV ファイルとして保存できます。

以下のようなダイアログを表示して、指定したフォルダに以下の形式のフォルダが作成されます。
フォルダ名：宛先表 CSV_YYYYMMDDhhmmss (実行時の YYYY:年、MM:月、DD:日、hh:時、mm:分、ss:秒)

上記フォルダ内に、宛先の種類ごとに、以下の形式の CSV ファイルが作成されます。
ファイル名：AAAA_宛先表 XX.csv (AAAA:宛先の種類、XX:宛先表番号、ただしワンタッチ宛先表を作成時は XX は「OT」となります。)

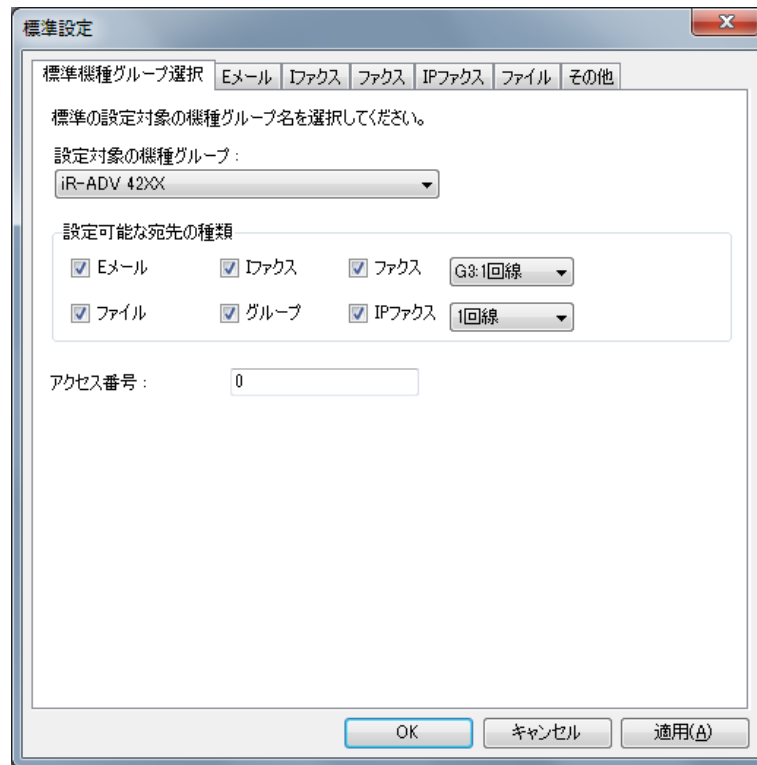


5.5. 標準設定

〔ツール〕 → 〔標準設定〕 を選択すると以下の画面が表示されます。
ここでは、機種種のデフォルトの設定、各宛先のデフォルトの設定が可能になります。

5.4.1. 〔標準機種選択〕

〔新規作成〕、〔開く〕 の動作を行った場合のデフォルトの機種、宛先情報を指定します。
画面のデフォルトは、保存機種選択の画面と同一のものととなります。

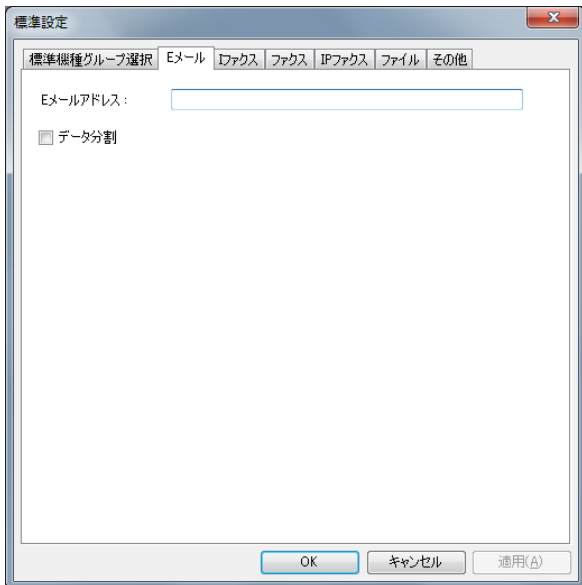


The image shows a Windows-style dialog box titled "標準設定" (Standard Settings). It has a tabbed interface with tabs for "標準機種グループ選択" (Standard Device Group Selection), "Eメール" (Email), "Iファクス" (I-Fax), "ファクス" (Fax), "IPファクス" (IP-Fax), "ファイル" (File), and "その他" (Other). The "標準機種グループ選択" tab is active. Inside this tab, there is a text label "標準の設定対象の機種グループ名を選択してください。" (Please select the standard device group name to be set). Below this is a dropdown menu labeled "設定対象の機種グループ:" (Device group to be set:) with "iR-ADV 42XX" selected. Underneath is a section titled "設定可能な宛先の種類" (Types of destinations that can be set) containing a grid of checkboxes and dropdowns: Email (checked), I-Fax (checked), Fax (checked), G3: 1回線 (dropdown), File (checked), Group (checked), and IP-Fax (checked), 1回線 (dropdown). At the bottom of the dialog is an "アクセス番号:" (Access number:) label followed by a text box containing "0". The bottom of the dialog has three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "適用(A)" (Apply).

5.4.2. 宛先のデフォルト設定

宛先の「新規作成」を行った場合のデフォルトを設定します。
(宛先名、フリガナ、ワンタッチ名称、アクセスコード以外)

[標準 E メール設定]



標準設定

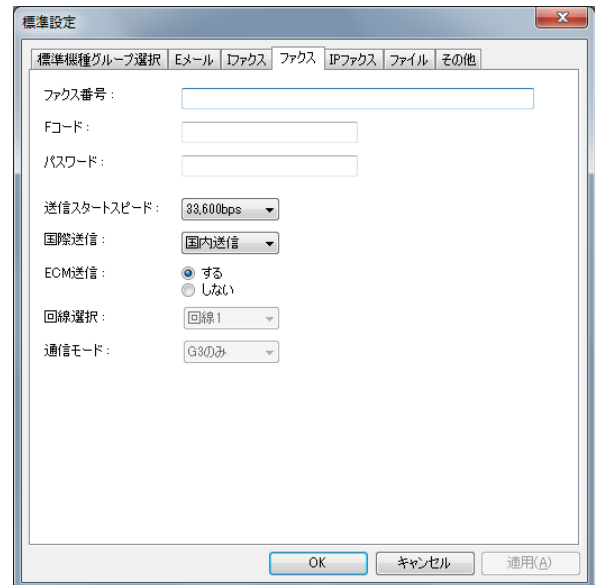
標準機種グループ選択 | Eメール | ファクス | ファクス | IPファクス | ファイル | その他

Eメールアドレス:

☐ データ分割

OK キャンセル 適用(A)

[標準ファクス設定]



標準設定

標準機種グループ選択 | Eメール | ファクス | ファクス | IPファクス | ファイル | その他

ファクス番号:

Fコード:

パスワード:

送信スタートスピード: 33,600bps

国際送信: 国内送信

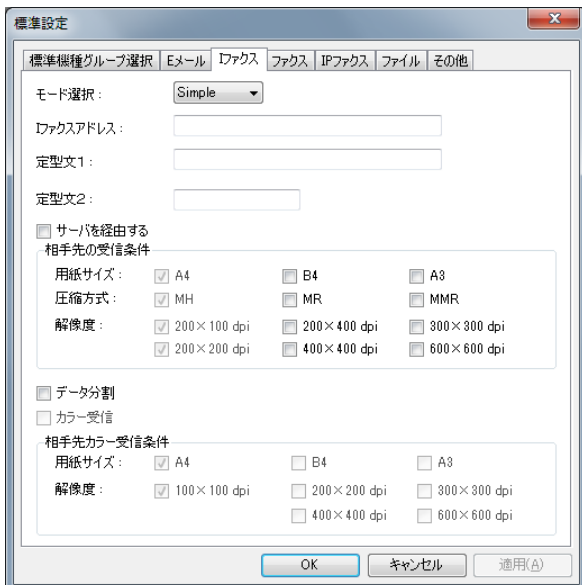
ECM送信: ☒ する ☐ しない

回線選択: 回線1

通信モード: G3のみ

OK キャンセル 適用(A)

[標準 I ファクス設定]



標準設定

標準機種グループ選択 | Eメール | ファクス | ファクス | IPファクス | ファイル | その他

モード選択: Simple

ファクスアドレス:

定型文1:

定型文2:

☐ サーバを経由する

相手先の受信条件

用紙サイズ:	☒ A4	☐ B4	☐ A3
圧縮方式:	☒ MH	☐ MR	☐ MMR
解像度:	☒ 200×100 dpi	☐ 200×400 dpi	☐ 300×300 dpi
	☒ 200×200 dpi	☐ 400×400 dpi	☐ 600×600 dpi

☐ データ分割

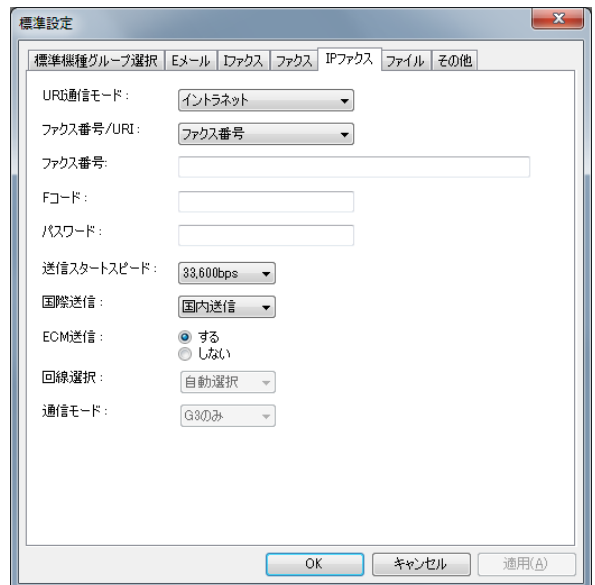
☐ カラー受信

相手先カラー受信条件

用紙サイズ:	☒ A4	☐ B4	☐ A3
解像度:	☒ 100×100 dpi	☐ 200×200 dpi	☐ 300×300 dpi
		☐ 400×400 dpi	☐ 600×600 dpi

OK キャンセル 適用(A)

[標準 IP ファクス設定]



標準設定

標準機種グループ選択 | Eメール | ファクス | ファクス | IPファクス | ファイル | その他

URI通信モード: イン트라ネット

ファクス番号/URI: ファクス番号

ファクス番号:

Fコード:

パスワード:

送信スタートスピード: 33,600bps

国際送信: 国内送信

ECM送信: ☒ する ☐ しない

回線選択: 自動選択

通信モード: G3のみ

OK キャンセル 適用(A)

[標準ファイル設定]

The screenshot shows the '標準設定' (Standard Settings) dialog box with the 'ファイル' (File) tab selected. The '標準機種グループ選択' (Select Standard Machine Group) tab is also visible. The 'FTP' protocol is selected in the 'プロトコル' (Protocol) dropdown. The 'ホスト名' (Host Name), 'パス' (Path), 'ユーザー名' (Username), and 'パスワード' (Password) fields are empty. A checkbox labeled 'パスワードをその都度入力する' (Enter password each time) is checked. The 'OK', 'キャンセル' (Cancel), and '適用(A)' (Apply) buttons are at the bottom.

[標準 IP ファクス設定] は、機種グループが iR-ADV 42XX の場合のみ有効になります。

[標準ファイル設定] では、機種グループが iR-ADV C5XXX/C7XXX/C9XXX、iR-ADV 8XXX/6XXX/4XXX/C3XXX/C2XXX/C350F の場合は、[パスワードをその都度入力する] チェックボックスが有効になります。

5.4.3 [標準その他設定]

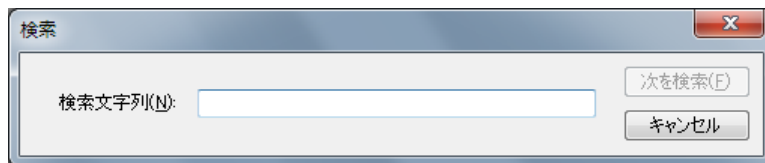
The screenshot shows the '標準設定' (Standard Settings) dialog box with the 'その他' (Other) tab selected. The 'ログファイルの保存期間' (Log file retention period) is set to 30 days. The text '日経過したログファイルは起動時に削除する' (Log files that have passed the specified period are deleted at startup) is displayed. The 'OK', 'キャンセル' (Cancel), and '適用(A)' (Apply) buttons are at the bottom.

ログファイルの保存期間を設定します。
(デフォルトは 30 日間です。)

5.6. 検索と置換

5.6.1 検索

[ツール] → [検索] を選択すると以下の検索ダイアログボックスが表示されます。



■ [次を検索]

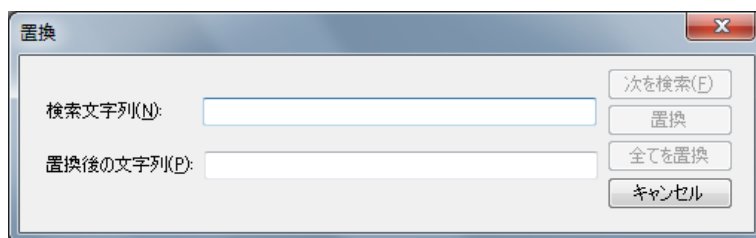
「検索文字列」に設定されている文字列を編集画面で表示されている項目の最上位から検索します。

検索結果が見つかった場合はその個所を選択状態に設定します。

検索結果が複数ある場合は、再度、ボタンを選択することで次の検索結果を選択状態に設定します。

5.6.2 置換

[ツール] → [置換] を選択すると以下の置換ダイアログボックスが表示されます。



■ [次を検索]

「検索文字列」に設定されている文字列を編集画面で表示されている項目の最上位から検索します。

検索結果が見つかった場合はその個所を選択状態に設定します。

検索結果が複数ある場合は、再度、ボタンを選択することで次の検索結果を選択状態に設定します。

■ [置換]

検索された文字列を「置換後の文字列」に設定されている文字列に置換します。

■ [すべて置換]

「検索文字列」に設定されている文字列すべてを「置換後の文字列」に設定されている文字列に置換します。